



ほけんだより(臨時号)

R4.11.21
石岡小学校
保健室

保護者の皆様へ ～市内での新型コロナウイルス感染症流行を踏まえて～

あっという間に時が過ぎ、今年も残りわずかとなりました。しかしながら、ここにきて新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、「第8波」の到来とも言われています。市内でも感染の広がりがみられ、複数の学校で学級閉鎖等の活動制限が求められている状況です。学校では、子供たちの安心・安全と学びの保障を両立するために、基本的な感染対策の徹底により一層努めて参りたいと思います。ご家庭でも、以下の点について、お子様と一緒に再度ご確認くださいませますようお願いいたします。

感染拡大防止に向けた基本的な取組

1. マスクを正しく着用する。

■ マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
		不織布 	布マスク 	ウレタン 		
	吐き出し飛沫量 100%	20%	18-34%	50% ^{※2}	80%	90% ^{※2}
	吸い込み飛沫量 100%	30%	55-65% ^{※2}	60-70% ^{※2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

マスクを着用する主な目的は、「会話や咳による飛沫の飛散や吸い込みを防ぐこと」です。どの素材のマスクであっても、隙間がないよう正しくマスクを着用しましょう。

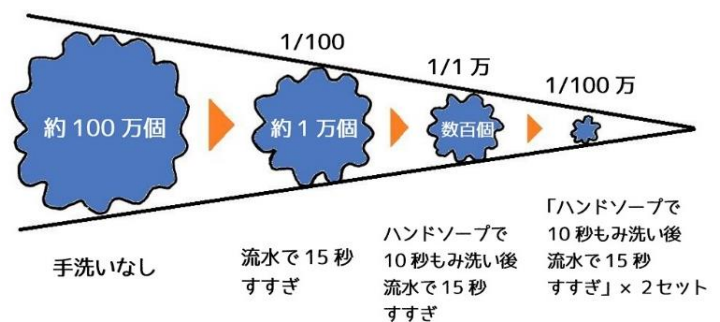
※2 豊橋技術科学大学による実験値

豊橋技術科学大学・全音楽譜出版社、<https://www.tut.ac.jp/docs/201015kisyakaiken.pdf> より

2. こまめに手洗い・消毒をする。

人は“無意識”に顔を触っており、そのうち目・鼻・口などの粘膜部分は、約44%を占めていると言われます。ウイルスは手指を介して粘膜から侵入し、そこから感染が成立します。そして、右の図から分かるように、ウイルスの侵入を防ぐためには水道水と石けんによる手洗いが重要です。それらが無い場合には、アルコール消毒も有効です。こまめに手洗い・消毒をするよう心がけましょう。

日本歯科医師会HPより



3. 検温・健康観察をしっかりと行う。

ご家庭での毎朝の検温・健康観察ありがとうございます。集団生活の場である学校で、感染拡大を防止するためには、体調が悪い人は無理をせず自宅でゆっくり休養することが重要です。引き続き、毎朝の検温・健康観察を行っていただき、本人や同居するご家族にかぜ症状が見られた場合には、ご自宅で様子を見ていただくようご協力お願いいたします。

感染拡大防止に向けた基本的な取組は、一人ひとりが簡単に実行できる内容が多く、大半はこれまでの「おさらい」です。本当に恐ろしいのは「自分は大丈夫」といった気持ちの緩みかもしれません。基本的な感染対策を徹底して、身近にいる大切な人の命や子供たちの明るい未来を守っていきましょう！